

4 交通事業会計

[概要]

平成 30 年度交通事業会計予算は、業務の予定量として、乗合事業については、稼働バス台数 19,059 台、走行キロ数 2,851 千km、輸送人員 2,392 千人を、貸切事業では、稼働バス台数 1,870 台、走行キロ数 250 千km、輸送人員 63 千人を見込み、これらに必要な諸経費及び運送収入等を計上しました。

これにより、収益的収支については、自動車事業収益の 1,055,851 千円から消費税及び地方消費税分 37,080 千円を控除し、自動車事業費用の 1,039,272 千円から消費税及び地方消費税分 26,634 千円を控除した結果、当年度純利益は 6,133 千円となり、当年度未処分利益剰余金は 27,221 千円となる見込みです。

また、資本的収支については、収入は、企業債等を計上し、支出は、ノンステップ型路線バス 2 台の更新等に要する建設改良費と企業債償還金を計上しました。

その結果、資本的収入 31,034 千円に対し、資本的支出は 118,628 千円となり、収支差引 87,594 千円の財源不足となる見込みですが、これは、損益勘定留保資金等で補てんすることとしました。

[収益的収支及び資本的収支]

収益的収支

項 目		予算額(千円)
収 入	乗合収入	512,986
	貸切収入	132,588
	その他収入	410,277
収 入 計		1,055,851
支 出	職員給与費	710,153
	燃料・油脂費	86,711
	車両修繕費	45,665
	減価償却費	79,435
	その他支出	117,308
支 出 計		1,039,272
差 引		16,579
消費税及び地方消費税		△ 10,446
当年度純利益 (△は当年度純損失)		6,133
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)		27,221

資本的収支

項 目		予算額(千円)
収 入	企業債	30,000
	固定資産売却代金	489
	工事負担金	545
収 入 計		31,034
支 出	建設改良費	65,108
	企業債償還金	53,520
支 出 計		118,628
差 引		△ 87,594

資本的収支差引不足額は、損益勘定留保資金等で補てんします。